

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東  
コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>  
代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔  
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)  
(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	3,910	△7.3	162	△56.9	222	△46.0	139	△46.9
2023年12月期第1四半期	4,219	3.8	376	6.1	412	4.5	262	1.9

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 147百万円(△44.1%) 2023年12月期第1四半期 264百万円(0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	8.65	8.62
2023年12月期第1四半期	16.43	16.33

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	12,354	6,039	44.6
2023年12月期	11,680	5,930	46.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 5,510百万円 2023年12月期 5,403百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	20,000	14.5	1,000	△2.1	900	△13.3	500	△2.2	31.27

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 英治出版(株) 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	16,108,800株	2023年12月期	16,108,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	187株	2023年12月期	187株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	16,108,613株	2023年12月期1Q	15,955,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに回復の兆しが見られ、個人消費や雇用情勢も緩やかな持ち直しの動きが続いています。内閣府は2024年4月の月例経済報告において、景気の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていること、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響、さらには令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分注意する必要があると指摘しております。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、当社が注力するインターネット広告市場の2023年の市場規模は前年比7.8%増の3兆3330億円となり、継続して高い成長力を保っております(出所：電通「2023 日本の広告費」)。また、一般社団法人日本eスポーツ連合によれば、国内eスポーツ市場規模は2022年に前年比27.0%増の125.4億円となり、2023年は162.2億円、2024年は194.5億円と高い成長率で拡大する見込みです。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、面白プロデュース、ゲームエンタメ、eスポーツ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSブライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,910,197千円(前年同期比7.3%減)、営業利益は162,206千円(前年同期比56.9%減)、経常利益は222,854千円(前年同期比46.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は139,335千円(前年同期比46.9%減)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります。サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、サービス別の売上区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ① 面白プロデュース

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域にも進出しております。しかしながら当第1四半期連結累計期間においては、コロナ禍を背景とした顧客のマーケットの動向や需要の変化などにより、顧客数の減少がみられました。この結果、面白プロデュース関連の売上高は459,392千円(前年同期比17.6%減)となりました。

#### ② ゲームエンタメ

「ぼくらの甲子園!ポケット」、「キン肉マン マッスルショット」、ハイパーカジュアルゲーム、(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発が売上高の大部分を占めています。ハイパーカジュアルゲームにつきましては、当第1四半期連結会計期間はハイブリッドカジュアルの開発にリソースを割いたことにより新作タイトル開発が遅れ、新たなタイトルのリリースはありませんでした。その影響もありモバイルゲームのダウンロード数が減少し、ダウンロード数は前年同期比では7.0%減、直前四半期比では13.3%減の約8,006万件となりました。この結果、ゲームエンタメ関連の売上高は2,201,633千円(前年同期比15.2%減)となりました。

#### ③ eスポーツ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。GLOE(株)のeスポーツ事業並びにトーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。当第1四半期連結会計期間におけるToname1の大会開催数は、コミュニティに寄り添った運営により国内大会数が増加した結果、直前四半期比13.8%増の9,004件となりました。一方、GLOE(株)では、当第1四半期連結会計期間の売上高が直前四半期比で減少しておりますが、下期偏重の事業のため想定内の進捗となっております。この結果、eスポーツ関連の売上高は683,969千円(前年同期比43.6%増)となりました。

#### ④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。当第1四半期連結会計期間末時点で、「SMOUT」の累計登録ユーザー数は直前四半期末比5.6%増の約5.5万人となり、順調に拡大しております。

「SMOUT」の導入地域数も当第1四半期連結会計期間末時点で直前四半期末比1.9%増の956地域となり、市場の上限である自治体数約1,700地域対しての導入率が56.2%となりました。また、当第1四半期連結会計期間末時点での「まちのコイン」の累計登録ユーザー数は、直前四半期末比22.9%増の11.4万人と、こちらも順調に増加しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は318,051千円（前年同期比26.7%増）となりました。

#### ⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年上半期に業績が悪化した後、緩やかな回復基調にあります。不動産業である鎌倉R不動産㈱による季節要因などもあり、その結果、その他サービス関連の売上高は247,150千円（前年同期比26.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ674,444千円増加し、12,354,663千円となりました。主な要因は、借入金増加と税金等調整前四半期純利益計上等による現金及び預金の増加409,811千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少329,329千円、投資有価証券の増加352,181千円であります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ564,934千円増加し、6,314,764千円となりました。主な要因は、短期借入金増加100,000千円、1年内返済予定の長期借入金増加196,644千円、未払金の減少672,231千円、預り金の増加393,377千円、長期借入金増加721,942千円であります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ109,510千円増加し、6,039,899千円となりました。主な要因は、GLOE㈱の株式売却による資本剰余金の増加19,270千円と、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加76,511千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2024年2月15日公表の「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,004,208	5,414,020
受取手形、売掛金及び契約資産	2,831,250	2,501,921
仕掛品	64,726	85,797
その他	521,166	648,893
貸倒引当金	△11,704	△10,786
流動資産合計	8,409,647	8,639,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	874,322	901,621
工具、器具及び備品(純額)	98,992	104,212
土地	645,724	645,724
その他(純額)	9,784	9,136
有形固定資産合計	1,628,824	1,660,694
無形固定資産		
のれん	698,515	780,729
その他	204,761	196,569
無形固定資産合計	903,277	977,298
投資その他の資産		
投資有価証券	318,149	670,331
繰延税金資産	173,155	168,721
その他	301,395	292,071
貸倒引当金	△54,230	△54,299
投資その他の資産合計	738,470	1,076,824
固定資産合計	3,270,571	3,714,817
資産合計	11,680,219	12,354,663
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	571,768	512,148
短期借入金	300,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	506,963	703,607
未払金	1,297,385	625,153
未払費用	339,811	353,944
未払法人税等	301,014	146,554
契約負債	190,964	124,637
預り金	781,096	1,174,473
受注損失引当金	10,347	—
その他	109,786	216,156
流動負債合計	4,409,139	4,256,676
固定負債		
長期借入金	1,313,326	2,035,268
その他	27,364	22,819
固定負債合計	1,340,690	2,058,088
負債合計	5,749,830	6,314,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,127,226	1,146,837
利益剰余金	3,385,402	3,461,913
自己株式	△229	△229
株主資本合計	5,412,638	5,508,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,688	1,824
その他の包括利益累計額合計	△8,688	1,824
新株予約権	52,267	53,927
非支配株主持分	474,171	475,387
純資産合計	5,930,388	6,039,899
負債純資産合計	11,680,219	12,354,663

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	4,219,100	3,910,197
売上原価	2,026,604	1,843,389
売上総利益	2,192,495	2,066,807
販売費及び一般管理費	1,816,333	1,904,600
営業利益	376,162	162,206
営業外収益		
受取利息	210	119
受取配当金	325	1,302
助成金収入	1,347	839
為替差益	43,970	66,368
その他	959	3,893
営業外収益合計	46,813	72,522
営業外費用		
支払利息	1,973	2,044
持分法による投資損失	6,727	708
固定資産除却損	—	8,857
その他	1,811	265
営業外費用合計	10,512	11,874
経常利益	412,462	222,854
税金等調整前四半期純利益	412,462	222,854
法人税、住民税及び事業税	150,861	86,366
法人税等調整額	△3,252	△329
法人税等合計	147,609	86,037
四半期純利益	264,853	136,817
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,551	△2,517
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,302	139,335

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
四半期純利益	264,853	136,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164	11,152
その他の包括利益合計	△164	11,152
四半期包括利益	264,688	147,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261,577	149,847
非支配株主に係る四半期包括利益	3,110	△1,878

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるGLOE(株)の株式の一部を売却いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が19,270千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,146,837千円となっております。